

与謝野駅周辺まちづくりワークショップ ①

日時： 令和7年8月11日（月・祝）

13:00～15:00

場所： 下山田地区公民館

1 開会

2 チェックイン

(1) 令和7年度ワークショップの趣旨と進め方

(2) まずはあいさつから始めましょう

3 与謝野町駅周辺まちづくり計画について

～令和6年度ワークショップの振り返り～

4 井戸端会議① 駅を活かしたまちづくり

～駅周辺の地域活性化に向けて～

5 井戸端会議② 駅前広場整備工事（案）についての話し合おう

6 チェックアウト-気づきの共有-

7 閉会



1 計画策定にあたって

(1) 計画策定の趣旨

与謝野駅(以下、「駅」という。)は、丹後山田駅として大正14年7月31日に開通式が行われてから、令和7年で100周年を迎えます。開通式の翌年の大正15年には、加悦鉄道が開業する等、地域の拠点駅として賑わいました。

現在の駅舎は、旧野田川町により平成2年に建替えられ、「きものの里・野田川町」らしく屋根を襟に見立てた和服をイメージした外観となっています。



丹後山田駅の開通式

長年にわたり与謝野町(以下、「本町」という。)の玄関口として、通勤・通学・観光・帰省など多くの方に利用いただいておりますが、人口減少や交通手段の変化等により、駅利用者数は減少傾向にあります。

一方、駅周辺では、近年、桜の植樹や、駅前広場の整備、ブルワリーの開業など、民間活力による賑わい創出の動きがあるとともに、令和5年5月から、上山田区、下山田区、地域事業者等で構成された、与謝野駅100周年委員会(以下、「地域団体」という。)を発足し、地域活性化の取組も行われています。



このような流れを受け、本町と地域団体による駅周辺における活性化のための対話を重ね、駅100周年を一つの契機として、これからの駅周辺における活性化のための計画を、地域・事業者・行政が共有するため、「与謝野駅周辺まちづくり計画」(以下、「本計画」という。)を策定しました。

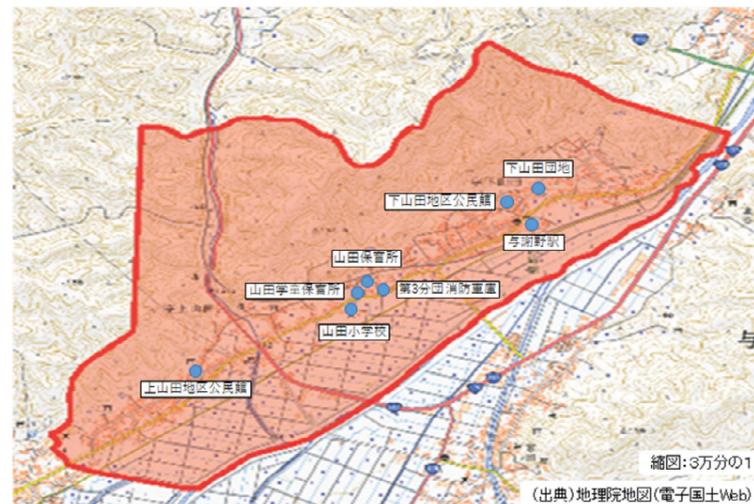
本計画では、駅周辺のまちづくりの将来像や基本方針、主な取組の方向に基づいて、多様な主体による協働のまちづくりを推進します。

(2) 計画の位置づけ

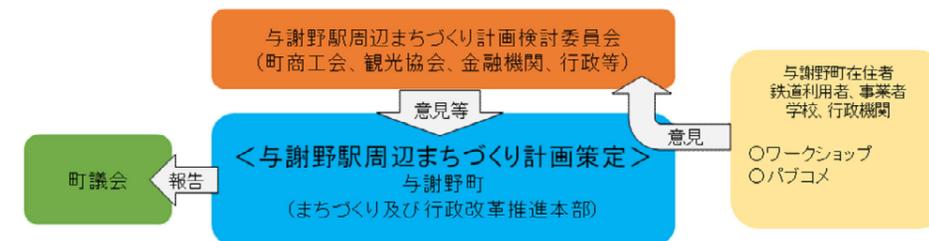
本計画は、与謝野町総合計画後期基本計画との整合性を図り個別計画として策定します。

(3) 計画策定のエリア

本計画は、地域団体や事業者と協力しながら、まちづくりに取り組んでいくものであるため、駅を中心とした上山田区、下山田区の山田エリアを対象とします。



(4) 計画の策定体制



(5) 計画期間 令和6年度～令和8年度

第2次与謝野町総合計画後期基本計画期間である令和8年度までを計画期間とし、今後の社会情勢の変化、多様化するニーズ等を踏まえ、令和9年度からはじまる第3次与謝野町総合計画には駅周辺におけるまちづくりの計画を反映することとします。

2 現状と課題

(1) 現状

- ① 人口の推移
 - 山田地区の人口推移を見ると、下山田区においては、集合住宅の建築により、一時的に人口が増加しましたが、年々減少傾向となっています。
- ② 事業所の推移
 - 事業所数についても年々減少傾向
- ③ 駅利用者の推移
 - 年々減少傾向が続く中、高齢者片道 200 円レール事業が開始された平成 24(2012)年は利用者が増加。しかし、高速道路の開通、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少
 - 令和4(2022)年は利用者が増加するが、コロナ禍前の利用者には回復していない
- ④ 空き家の推移
 - いずれの地域も増加しており、今後も増える予想

⑤ アンケート及びワークショップの主な意見<主な意見>

- 【駅周辺整備の方向性】
 - 飲食店と連携、広場活用、空き家活用、駐車場の改善
- 【駅・待合室/広場整備の方向性】
 - 光環境の改善、会議室との一体化、地域の場として活用



(2) 課題の整理(求められる対応)

- ① 人口減少対策
 - ア 自然減への対応、イ 社会減への対応、ウ 持続可能なまちづくりへの対応が必要
- ② 空き家対策
 - 一方で増加する空き家対策には、ア 移住・定住相談対応、イ 空き家の流動化促進が必要

3 将来像と基本方針

駅はおよそ100年にわたり、本町の玄関口として、多くの方に利用されてきましたが、近年は、人口減少や交通手段の変化・道路網の整備等により、駅利用者は減少しています。

一方、駅周辺では、近年、賑わいの創出や活性化の取組など、未来に向けた動きが地域・事業者・行政の協働により取り組まれています。

将来像と基本方針を定め、改めて、地域の課題に対して求められる対応を整理した上で、まちづくりを推進していきます。

(1) 駅周辺まちづくりの将来像

100年後も鉄道とともにあるまち

地域・事業者・行政がそれぞれの強みを活かしながら、鉄道、まちの玄関口の駅、空き家など、地域資源を活かしたまちづくりによる地域活性化を推進します。

(2) 基本方針

駅周辺まちづくりの将来像を実現するため、まちづくりの基本方針を次の3つに、また、各方針の主な取組方向について、次のとおり整理します。

方針① 新たな賑わいと交流を創出

駅は、本町の玄関口として、通勤・通学・観光・帰省など多くの方に利用いただいておりますが、次の100年につなげていくため、地域・事業者・行政が、それぞれの強みを活かしながら、協働により、新たな賑わいと交流を創出していくことが求められます。

1 駅周辺を活用したイベント等の実施

- 地域の方による駅周辺を活用した物販等のイベント、交流の実施
- 駅という特性を活かしたイベントの実施

2 新たなコンテンツの造成による関係・交流人口の創出と拡大

- 人が集まる・立ち寄れる魅力的なコンテンツの創出
- 滞在・体験型コンテンツの創出

3 駅周辺エリア等の整備

- 安全・安心な駅周辺エリアの整備
- 快適に過ごせる待合環境の整備



※イメージパースは参考であり、関係機関等との協議により変更となる場合があります

方針② 地域の価値を高め、この活動を持続可能なものに

豊かな地域コミュニティや空き家などの地域資源を活かし、地域の価値を高め、関係人口を拡大させ、移住・定住につなげていくことで、新たに創出された賑わいを支え発展させる人材を呼び込み、この活動が持続可能なものになることが求められます。

1 まちの魅力発信

- 町内外の与謝野町ファンを増やすため、SNS等を活用した積極的な魅力発信を実施

2 地域団体・事業者・行政が連携した移住・定住サポート等の実施

- 地域おこし協力隊等による移住・定住サポートの実施
- 移住促進特別区域を活かした移住・定住支援の実施

3 おもてなし・歓迎の機運醸成

- 地域の方による駅周辺の環境美化活動等の実施

方針③ ちりめん街道等の地域資源との連携

駅を核とし、地域資源であるちりめん街道や阿蘇シーサイドパーク、滞在・体験コンテンツとつなぐことにより、本町ならではの関係・交流人口の創出・拡大を図ることが求められます。



1 ちりめん街道や阿蘇シーサイドパーク等との連携

- 町内で実施するイベントと公共交通とのタイアップの実施
- 自転車道を活用した二次交通の充実

■まちづくりに向けた連携体制

本計画策定後、地域主体のまちづくり活動の実現及び今後の社会情勢の変化等への柔軟な対応のために、地域住民、事業者、行政にて本計画で定める駅周辺まちづくりの考え方を共有し、多様な主体による協働のまちづくりを進めていきます。



駅周辺エリア等の整備に係るイメージパース

令和6年度 京都工芸繊維大学 角田研究室 作成



駅前広場から



ホームから



駅舎落合室（北東から）



駅舎落合室（見下ろし）

与謝野駅周辺まちづくりアンケート結果

アンケート募集期間 令和7年7月12日（土）～8月8日（金）

アンケート回答者数 57名

アンケート回収方法 WEB回答（39名）、アンケート用紙の提出（18名）

アンケート結果

Q1 あなたの性別は？

男性	32名	回答しない	1名
女性	23名	未回答	1名

Q2 あなたの年代は？

20歳未満	33名	50歳代	5名
20歳代	4名	60歳代	5名
30歳代	4名	70歳以上	2名
40歳代	4名	回答しない	0名

Q3 あなたのお住まいは？

与謝野町内	43名	回答しない	1名
与謝野町外	13名		

Q4 与謝野駅の利用頻度は？

ほぼ毎日	2名	月に数回程度	2名
休日を除くほぼ毎日	0名	年に数回程度	16名
休日のみ	0名	ほとんど利用しない	33名
週に数回程度	0名	回答しない	0名

その他 4名

- ・ 列車に乗るのは年に数回であるが、週3回程度駅構内を通り抜けさせていただいてます、ウォーキングのため
- ・ 来たのが2回目（駅利用は4回）
- ・ 初めて利用した
- ・ 初めて来た

Q 5 与謝野駅や駅周辺に期待することを選んでください（3つまで）。

1	飲食店と連携	33 件
2	あそび場としての広場活用	32 件
3	空き家活用	11 件
4	自転車道とホーム側のつながり強化	11 件
5	駐車場の改善・安全対策	10 件
6	光環境の改善、窓の大口化	3 件
7	ギャラリーの開放、会議室との一体化	7 件
8	展示の工夫	10 件
9	掲示活用・情報案内	6 件
10	地域の間としての活用	23 件

Q6 100年後も鉄道とともにあるまちを目指して、与謝野駅周辺が活性化するためのご提案をお聞かせください。

1	楽しいイベントをする
2	イベントをひらく
3	イベントを開く。
4	楽しいイベントをふやす
5	イベントをして、もっと与謝野町にある与謝野駅のことをもっと知ってもらおう。
6	また、イベントをしたらいいと思う
7	この前のヨサノガーデンフェスほどじゃなくてもいいから定期的に与謝野駅でイベントをやしてほしい
8	ヨサノガーデンフェスに来ました。とっても楽しいイベントで駅周辺でこういったイベントがあるのはいいなと思いました。これを機会に子どもと電車に乗ることができたのでよかったです。また電車に乗ろうと思います。
9	ライブの開催
10	取り組みをしたらいいと思う
11	子供も来るような楽しいイベントをもっと増やす。 ・安全対策として、駐車場や、ロータリーなどの、みんなにとって使いやすいものを設置する。
12	子供が来やすいようなイベントをもっと増やす。 ・駐車場を広くしたり、ロータリーなどの安全な物を増やす。
13	与謝野駅へのバスアクセスが重要と思います。普段は利用していないが、将来、孫たちの時代にも残っていてほしい。
14	駅と庁舎や公民館、観光スポットが遠すぎる!!街の中心は、ちりめん街道としても立派ですばらしいのに、車がない、車に乗れない方々には足がない。もう少し観光との連携をとるべき。またはバスを待つ間の駅前のスポットを作るか?
15	駅前に何もありませんものね。バスの本数もほとんどなく、利用の需要はないです。パークアンドライド、橋立への誘導など?ただ、駅前には何もないので、駅前地域への貢献はできなさそうです。
16	駅に行くと、乗降客はぼちぼちある、降りて加悦方面に行かれる観光客もある、しかし、駅周辺に飲食店、宿泊先が少なくは盛り上がりがない、駅のイベントを通じて店を出したい、食堂をしたい、宿泊施設を作りたいと考えている人も少なからずいると思います、その人たちの背中を押せるような体制が、補助金ができないだろうか、空き家もあります、そういう人たちを集めることはできても何かインパクトのあるものを用意しておかないと・・・官民力を合わせてやりたいですね。
17	おもちゃ屋さんが近くにあったらいい。お花畑があったらいい。ゲームセンターがあったらいい。電車を近くで見れるところがあったらいい。電車に乗れる体験をして見たい。
18	もっとまちあいしつをひろくしてほしい
19	駅の中で何かを買えるようにしたりすればもっとよくなると思います。

20	電車の待ち時間などで飲食ができる店を出した方がいいと思います。
21	飲酒店の説明
22	作品展示スペース（コーナー）：地域住民・児童生徒の美術・工芸品・写真等の展示コーナーの設置 PRコーナー：いい旅チラシの作成・陳列、多彩なアイデア・オリジナリティな鉄旅企画してもらえる方を募集しチラシを作成し自由に持ち帰りできるコーナーの設置 カフェの出店：出店者にスペースを提供し、利用者がリーズナブルで利用しやすい環境による駅ナカ店舗の誘致、曜日限定の営業でもよい。
23	ストリートピアノを置いて欲しいです。
24	「バリアフリー」にもっと力を入れてほしい
25	あそびば
26	遊び場
27	みんなが行きたくなるような場所にしてほしい 駅から電車に乗るだけでなく、駅に遊びに来るような駅を目指してほしい 小さくてもいいから、シアターなんかもいいと思う 憩いの場にしてほしい
28	駅としての利便性がまず必要。自家用車を停めて電車に乗れること、宮津駅で乗るより有利であることが必要。フランチャイズでない飲食店が直近にあるとなお良い。商店で他と勝負するのは無理がある。他所から来た人が与謝野駅で降りたときの利便性は、元々用がある人にしか関係ないので、活性化には影響しないと思う。
29	駅前にコンビニ設置、駅でのICOCAなどのICカード支払いを導入
30	与謝野駅を通る電車で育成会みたいなように色々なところに行くという提案です。
31	もっと有名にして与謝野町の人以外の利用をしてもらえるようにする。
32	人が集える場に
33	みんなが来たくなる工夫をすればいい
34	沢山の人が来るように町中にチラシを配る。フォトスポットをつくる。
35	S9年3月、近くで生まれて、小さい時は毎日、戦争中もここで遊んで、学校も朝6時5分の汽車で1時間かけて行き、嫁に行く迄、本当に忘れられない場所。今は汽車も少なく、遊ぶ所も食べる所もない。本当に寂しい。もっと活気がほしい。
36	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の意見や要望を丁寧に聞き取ったり、汲み取ったりしてほしい。 ・駅を交通機関として利用するだけでなく、地域の交流の場、発信の場、情報を得られる場等、さまざまな利用方法を考えてほしい。 ・駅周辺が緑もなく、殺風景！100周年を記念して植樹をする。駅構内のシンボルの桜の木が枯れてしまっているので、次の桜を植えてほしい。
37	地域の人たちとの一体化
38	移住者だけのエリアを作る。
39	いつも楽しみにしています、これからも頑張ってください！